

良元ええとこ

# 【ほっこり湯】祝！10周年

2023年10月1日に、「ほっこり湯」は、10周年を迎えた。

以前をご存じの方も多だろうが、「わかさ湯」として、営まれていた。経営難のために、廃業となった銭湯を「ほっこり湯」として、再オープンさせてから現在に至るまで、10年間経営を続けてこられた、NPO法人スマイルウェイ代表の西山良孝さんにお話を伺った。



## トラブルの連続だった、走り続けた10年

銭湯は、設備が特殊で、修繕に苦労され、特に、ボイラーのトラブルが多数あったそうだ。元々譲り受けた時点で、設備が古かったが、早々に変える余裕などなく、何とか工夫して使ってこられた。また、燃料の高騰も悩みの種で、重油から天然ガスへ変えたが、冬場などは、どうしても着火しない時があり、中を見ようとするが、操作が見えないつくりで、そんなときは休みの日も出てきて、調整をされたそうだ。その後は、問題を早期に発見するために、定期点検を年3回実施するようになった。またある時は、お湯がたまらないというトラブルが起き、原因を調べたいが、古い建物のため、設計図がない状態で、何とかメーカーを調べて、配管の穴があいていたことがわかり、メーカーとのやり取りを重ね、修理することができた。西山さんは、「専門の知識があったわけではないが、毎日来てくれるお客さんになるべく迷惑をかけたくない一心で、ギリギリまで対応する日々だった」と当時を回想された。



お客様が喜んでくれる。  
それがエネルギーに

銭湯の魅力は、お客さんとのコミュニケーション。特に、冬はあったまる常連さんと会うのが楽しみの一つだ。番台のおばちゃんとのお喋りを楽しみにしている常連さんためにと、当初入り口に受付を設けていたが、番台方式にされた。もう一つの魅力は、入浴料が安いことだ。「毎日来られるお客さんの中には、高齢者など、日々の暮らしにいっぱいの人もいる。そういう人

たちが、安心して来られるように何とか頑張っている。従業員たちも、さほど高くない給料でも、お客さんに喜んでもらえるアイデアを考えてくれたりして、運営に関わってくれているので、いつもありがたいと思っている」と西山さん。

## 次の世代につなげたい銭湯の良さ

夏休みには、子ども無料などを実施され、10周年の時には、アンケートを実施して、より居心地の良い銭湯を目指そうと日々工夫をしているそうだ。

「ほっこり湯」からのプレゼント！  
2024年2月1日～29日の間、  
「良元コミュニティ」と言ったら、  
入浴料が無料になります！

楽しいことが大好きな西山さんは、毎回いろんな企画を考えている。お客さんの笑顔を楽しみにしている。今度はどんな企画なのか。



宝塚市大成町 7-15 (大成郵便局裏)  
番台電話：070-2822-4254

## 【HPでも見られます】

直接下記のアドレスを打ち込んで頂いてもアクセス  
できます。 <https://takarazuka-community.jp/ryougen/>

右記のQRコードを読み取っても  
アクセスできます。



## 「良元コミュニティだより」

### 広告掲載大募集中！！

発行：年4回（1・3・6・9月）若干前後有  
規格：一コマ縦約4センチ×横約9センチ（目安）  
料金：1回掲載3千円、年間掲載1万円  
発行部数：約3000部  
問合せ：広報白津（0797-74-0094）